

後継イベント。市
は併により名称など

よつこ餅いしが
巻の束
コトと鳥の
一瞬のこまかい
白い間に変え

、その中
薄し「風雷」と
トを羽織って狭
ん）部を駆け上
り越えては激し
火口の底に陥る

のすそが、マン
、少し乱れた。
のぞいたもの
さや荒涼感のな
はにかんだ山頂
が、すぐに消

く前に進むつと
にはじきとばこ
をかかめて風に
立ちつくすしか

真は三浦章男と

懐かしい味どうぞ

東京で「津軽を食する会」

じゃっば汁、アンコウのともあえ…

懐かしいふるさとの味（川野真理子代表）旧平
をどうぞー東京の特定非 賀野出身）が十一日夜、
宮利活動法人（NPO法 東京・西新橋のレストラ
人）「キー・プラネット」ン・ボウヴェールで「津
郷の味を楽しんだ。



弘前地区生活改善グループのメンバーたち（後
方）が腕を振るった料理が並ぶ「食する会」

「食する会」は同NPO
法人が「伝統料理を通じ
在京の県出身者や青森フ
ァンのネットワークをつ
くり、特産品の受け皿に
したい」（川野代表と企
画した。今回が二回目。

食材は青森から直送。
弘前地区生活改善グルー
プふれあいバックの会
（清野せつ代表）のメン
バー九人が上京し、たら
のじゃっば汁、けの汁、
ニンジンの子あえ、アン
コウのともあえ、高粱の
しょうゆ漬けなどの料理
に腕を振るった。

旧尾上町出身の鈴木世
紀子さんは「津軽料
理は明治十二年生まれの
おばあちゃんの思い出の
味。まん会えたような気

持ちぞうれい」と懐か
しげ。都内で商店会と地
方産地のマッチング事業
を手がける弘前市出身の
久保里砂子さんは「人の
つながりを生かし、青森
の応援をしていきたい」
と話していた。

（河田寛照）

弘前

ギター奏者黄金井さん
かまくら「ソナート
28日山の家「ぶなこ」

弘前市常盤野の山の家
「ぶなこ」の特設会場で
二十八日午後六時半か
ら、国内外で演奏活動を
続けている東京都出身の
ギター奏者・黄金井裕さ
んの「かまくらコンサート」
が開かれる。

情緒あふれるかまくら
の中で、黄金井さんの奏
でる旋律に、静かに浸る
ことができる。コンサー
トは三千人限定で、費用
は一人二千円。申し込み
と問い合わせは山の家
「ぶなこ」（電話019
2-2428）へ。